

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
エス・ワン動物 専門学校	平成16年7月5日	武田美千子	〒060-0001 札幌市中央区北1条西19丁目2番地7 (電話)011-623-1121		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人高橋学 園	平成16年7月5日	高橋 淑子	〒064-0810 札幌市中央区南10条西20丁目1番38号 (電話)011-623-1121		
目 的	ペットの総合的な基礎知識とともに、家庭犬のしつけ及び動物介在活動に関する専門的な教育を行い、ドッグトレーナー及び動物介在福祉士として活躍できる技術者を養成する。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了 に必要な総授 業時数又は総 単位数	専門士の付与	高度専門士の 付与
専門課程	ペットライフ学科	2年(昼)	88単位	平成6年文部省 告示第84号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	27単位	3単位	0単位	58単位	0単位
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人	33人	2人	18人	20人	
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■前期: 4月1日～9月30日</li> <li>■後期: 10月1日～3月31日</li> </ul>	成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■成績表(有・無)</li> <li>■成績評価の基準・方法について 試験、出席率、授業態度等で5段階 評価</li> </ul>		
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学年始め: 4月11日</li> <li>■夏 季: 7月25日～8月15日</li> <li>■冬 季: 12月23日～1月19日</li> <li>■学 年 末: 3月14日</li> </ul>	卒業・進級条件	各学科の全科目を履修すること		
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>■クラス担任制(有・無)</li> <li>■長期欠席者への指導等の対応 担任から生徒、父母と相談する</li> </ul>	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■課外活動の種類 動物愛護週間行事への参加</li> <li>■サークル活動(有・無)</li> </ul>		
主な就職先	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主な就職先、業界 ペットショップ、動物病院</li> <li>■就職率 100 %</li> </ul>	主な資格・検 定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際セラピードッグ協会認定ジュ ニア ハンドラー</li> <li>・愛玩動物飼養管理士1級</li> <li>・介護職員初任者研修</li> </ul>		
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</li> <li>平成28年4月 1日在学者 27 名(平成 27年4月入学者を含む)</li> <li>平成29年3月31日在学者 27 名(平成 28年3月卒業生を含む)</li> <li>■中途退学の主な理由</li> <li>■中退防止のための取組</li> </ul>				



## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

・企業、業界団体等との連携によりペット関連業界の動向を踏まえ、企業等の派遣講師による特別講義や企業等で実習を行い、

犬のしつけやセラピードッグの育成、美容に関する最新の知識、技術の習得を図る。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年4月1日現在

#### 名 前 所 属

武田 美千子 エス・ワン動物専門学校 学校長  
近藤 厚 高橋動物病院 院長  
山下 昭男 (有)エヌエスクリーン代表取締役 (わんわんショップかくれんぼ代表)  
名取 裕憲 ドッグケアサポート代表  
平木 守洋 北海道オールペット組合 相談役

### (開催日時)

第1回 平成29年10月12日 17:00～18:00 (予定)

第2回 平成30年2月15日 17:00～18:00 (予定)

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

・カリキュラムの作成、講義及び実習の実施 他

・実習内容に対して、企業における受入担当者が本校の指定する項目及び感想を具体的に記入し、その内容を学生にフィードバックする

#### 科 目 名 科 目 概 要 連 携 企 業 等

セラピー犬ドッグ育成実習 セラピー犬育成技術の習得、ライセンス取得 国際セラピードッグ協会  
グルーミング応用実習 ペットサロン等でのトリミング技術の習得 スートトムボーイドッグ 他  
家庭犬適性飼養実習 犬の躰トレーニング学で学んだことの実践 DOG STREET 他  
動物介在療法現場実習 動物介在療法のプログラムを計画、実践、評価、まとめ 溪仁会 他  
ペットマッサージ ホリスティック医療の知識とペットマッサージの手技を習得 川地ヒロ  
介護職員初任者研修 高齢者や障害者のための介護技術を習得し、資格を取得 日本福祉介護教育センター  
学外現場実習 ペットショップ等における業務内容を学習 ペットナーサリー 他

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

教員の実務に関する知識、技術及び技能並びに授業及び生徒に対する指導力の修得・向上を目的として、

教員の業務経験や能力に応じて研修等の受講を行う。

## 4. 学校関係者評価

### (学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

#### 名 前 所 属

山下 昭男 (有)エヌエスクリーン代表取締役 (わんわんショップかくれんぼ代表)  
木嶋 俊雄 第一ペット商事(株) 専務取締役  
山橋 薫 卒業生  
中島益美 地域住民

### (学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページにて公開

## 5. 情報提供

(情報提供の方法)

入学案内、ホームページで提供

(商業実務分野専門課程 ペットライフ学科) 平成29年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	業時	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			動物形態機能学Ⅰ	動物の基本的な構造と働きを理解する	1 前期	30	1	○		
○			グルーミング学 (動物健康管理学)	グルーミングの目的、必要性を理解し、グルーミング実習につなげる	1 前期	30	1	○		
○			動物行動学Ⅰ(大学)	基本的な犬の動作から脚足歩行まで、しつけ教室の基本を学ぶ	1 前期	30	1	○		
○			動物栄養学	動物に必要な栄養について基本を学ぶ	1 前期	30	1	○		
○			動物飼養管理Ⅰ	愛玩動物の適性飼養について学び、愛玩動物飼養管理士2級の資格取得を目指す	1 前・後期	30	1	○		
○			公衆衛生学	動物に発生する感染症や、人獣共通感染症の病原体、感染源、伝播様式、臨床症状、予防等について学ぶ	1 前期	30	1	○		
○			動物人間関係学 (AAA・AAT概論)	人と動物の絆(HAB)の理念と動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育など社会活動を理解し人と動物の共生に寄与する	1 前期	30	1	○		
○			ビジネスマナー学Ⅰ	基本的なマナーを知り、それを身に付けることを通して、より豊かな教養ある人物を目指す	1 前期	30	1	○	△	
○			総合学習	学内での各種行事に参加し、コミュニケーション能力を身につける	1 前・後期	52	1	○		
○			企業実践講座	広く様々なペットフード・ペット用品メーカーから製品の特徴やセールスポイントを学ぶ	2 後期	14	0.5	○		
○			動物繁殖学	さまざまな生物の繁殖の概要と、具体的な繁殖の手法について犬・猫を中	2 後期	16	0.5	○		
○			動物行動学Ⅱ(猫学)	猫への知識、グルーミングの技術について学ぶ	2 後期	30	1	○	△	
○			動物飼養管理Ⅱ	愛玩動物に関する専門的知識を高めるとともに、動物愛護や人と動物の共	2 前・後期	30	1	○		
○			手話学	視覚障害者とのコミュニケーション手段の手話の技術を修得すること及び聴覚障	2 前期	20	2	○	△	
○			ビジネスマナー学Ⅱ	身に付けたマナーを日常生活や社会生活の中で活かし、社会に出て求め	2 前・後期	30	1	○	△	
○			ペットマッサージ	近年における、ペットの高齢化や生活環境などを理解し、ホリスティック医療の知識を深めると共に、ペットマッサージの手法を修得する	2 前期	20	1			○
○			総合学習Ⅱ	学内での各種行事に参加することにより、応用力や社会性を高める	2 前・後期	36	1	○		
○			家庭犬適性飼養学Ⅰ	犬とはどのような生き物かについて基本を学ぶ。家庭犬のしつけについての基本を学習する。	2 前・後期	60	2	○		
○			家庭犬適性飼養実習Ⅰ	家庭犬のしつけにあたり、犬の触り方、首輪の付け方、リードの持ち方などの基本事項を学ぶ。基本動作の方法を学び、実践する中で基本的技術を修得する。	2 前・後期	120	3			○
○			セラピー犬ハンドラー育成実習Ⅰ	セラピードッグ育成に向けてハンドラーとしての基本的動作を学ぶ	1 前・後期	240	6			○
○			動物介在療法Ⅰ	アニマルセラピーの標準的な理解を目的に授業を進める	1 後期	30	1	○		
○			動物看護学	動物の症状や疾病にあわせた看護を学ぶ	1 後期	30	1	○		
○			介護職員初任者研修	動物介在にたずさわる上で必要とされる介護の基本的知識や技術を学ぶ	1 後期	122	4			○
○			ペットシッター・ポップアート学	・ペットシッターに必要な知識、技術を学ぶ。 ・商品の説明や価格の書き方を学ぶ	1 後期	30	1	○		
○			グルーミング基礎実習	グルーミング作業、犬の扱い方、器具の扱い方の基本を身に付ける	1 前・後期	480	12			○
○			学外研修	学校外で行われる各種行事を見学、参加してペット業界への理解を深める	1 前・後期	44	1		○	
○			家庭犬適性飼養学Ⅱ	主な飼養相談と解決方法を学び、飼い主にどのように伝えるかを学ぶ。また、子犬のしつけ教室を実施するための計画、準備を進める。	2 前・後期	60	2	○		
○			家庭犬適性飼養実習Ⅱ	子犬のしつけ教室に向けて基本動作を再確認する。飼い主に伝えることの難しさを感じ、改善事項を検討する。	2 前・後期	120	3			○
○			セラピー犬ハンドラー育成実習Ⅱ	セラピードッグ育成に向けてハンドラーとしての応用動作を学び、認定ジュニアハンドラー取得を目指す	2 前・後期	240	6			○
○			英国式ペットカウンセリング	犬と適切なコミュニケーションをする為に行動学上欠かせない知識を習得する。それをイギリスではどのように行われているかを紹介しながらグローバルな視点で理解を深める	2 後期	20	1	○		
○			動物介在療法Ⅱ	具体的な動物介在療法のプログラムを計画、実践、評価、まとめをしていく	2 前・後期	60	2	○		
○			動物介在療法現場実習	実際の現場での動物介在療法のプログラムを計画、実践、評価、まとめをしていく	2 前・後期	120	3			○
○			セラピー犬グルーミング実習	セラピー犬に対するグルーミングの基礎を学び、技術を修得する。	2 前・後期	120	3			○
○			グルーミング応用実習	時間配分を考え、グルーミング犬種の全身カットがひとりで出来る技術を身に付ける	2 前・後期	480	12			○
○			学外現場実習	関連企業への現場実習、課題に対する達成状況を日誌並びに評価表を通して学校へフィードバックし、教育へつなげる	2 前期	160	4			○
○			学外研修Ⅱ	学校外で行われる各種行事に参加し、ビジネスマナーの対応力を高める	2 前・後期	76	2		○	
○			ペットフード・ポップアート実習	犬に必要な栄養素や栄養、バランスを学び、お客様に的確にアドバイスが出来る知識を身に付けると共に調理の実践力を磨く。	2 前・後期	60	2			○
合計				37科目		3160単位時間(88単位)				